

令和2年度五個荘地区住民福祉会議事業計画

【主旨】

- 五個荘地区における住民同士の支え合い・助け合い活動や、日頃の暮らしの営みから生み出される交流やつながりを、五個荘地区の「財」（たから）としてとらえ、その価値を地区全体で確認し、共有する取り組みを進める。
- 五個荘地区の人の「財」（尊さ）がますます光輝くよう、命の尊厳・生きがいをお確かめ合い、多様な世代の住民と活動が交流し、新たな「財」が生み出されるような場づくりと、その仕組みとしての協議体づくりを進める。

【計画】

1. 第2層協議体の設置及び運営

- 第2層協議体として「五個荘地区住民福祉会議」を開催し、五個荘地区の多様な住民活動、福祉活動の状況を共有するとともに、これらの取組をつなぎ、協働する態勢づくりを進め、五個荘地区全体のネットワークづくりを進める。

(1) 「五個荘地区住民福祉会議」の開催

- ・年3回開催

(2) 先進地研修の実施

- ・構成員の視察研修を企画実施し、先進的取り組みから学び活動に活かす。
- ・年1回実施

(3) 地域支えあい推進員の設置

- ・奥村 昭（社会福祉法人六心会 地域支援担当）
- ・辻 薫（社会福祉法人六心会 地域支援担当）

2. 地域の活動や資源の見える化

- 第2層協議体に2つのチームを設置し、地域の活動や資源の見える化を進める。

(1) 自治会応援チーム

- ・作成した「自治会カルテ」をもとにして、各自治会から1～2事例を選定して「人は財（たから・尊い）・まちの財（たから・貴重）～五個荘地区住民福祉活動事例集」（仮称）を作成し各世帯に配布するとともに「五個荘住民

福祉フォーラム」を開催し、「財」の「見える化」を進める。

- ・チーム会議の開催（年3回程度）

(2)子ども・子育て応援チーム

・五個荘地区の公私の子育て応援事業・活動を調査して「見える化」を進めるとともに、「五個荘地区子育て応援会議」（仮称）を開催して地区の子育て応援の人と活動、場の緩やかなつながりづくりを進める。

- ・チーム会議の開催（年3回程度）

(3)WEBによる発信の仕組みの構築

・WEBを活用して五個荘地区住民福祉会議の活動や作成資料を発信するとともに、住民が容易にアクセスできる仕組みを構築する。

【開設】五個荘地区住民福祉会議（gokashofukushi.com）

